



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年2月10日

上場会社名 神戸天然物化学株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6568 URL <https://www.kncweb.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮内 仁志  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 栗山 康秀 TEL 078 (955) 9900  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の業績 (2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	4,763	8.3	880	86.3	911	90.2	628	147.1
2022年3月期第3四半期	4,399	12.3	472	59.9	479	48.5	254	56.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	81.47	-
2022年3月期第3四半期	32.72	-

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	13,308	10,827	81.4
2022年3月期	13,951	10,575	75.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 10,827百万円 2022年3月期 10,575百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	25.00	25.00
2023年3月期	-	10.00	-	-	-
2023年3月期 (予想)	-	-	-	18.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日 (2023年2月10日) 公表いたしました「通期業績予想の修正 (上方修正) および配当予想の修正 (増配) に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,300	11.6	1,870	70.9	1,900	72.3	1,330	106.7	172.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	7,779,900株	2022年3月期	7,779,900株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	70,169株	2022年3月期	36株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	7,712,582株	2022年3月期3Q	7,770,812株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における国内経済は、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって景気が持ち直していることが期待される状況となりました。ただし、世界的な金融引締めが続いており海外景気の下振れリスクが我が国の景気を下押しする懸念となっており、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響や中国における感染動向に十分注意が必要な状況でありました。

このような状況の下、当社は中期経営計画の基本方針に沿って、引き続き生産ソリューション提供の拡大による事業構造の変革、新技術の開発、製造合理化等による一層の業績改善に注力してまいりました。この結果、当第3四半期の経営成績及び財政状態は以下のとおりとなりました。

機能材料事業部門は、第2四半期に引き続き医薬関連材料の量産ステージ製品販売が好調であったことから、売上高は2,149,389千円（前年同四半期比12.9%増）となりました。

医薬事業部門は、量産ステージ製品を中心に売上が好調に推移した結果、売上高は1,725,260千円（前年同四半期比6.4%増）となりました。

バイオ事業部門は、量産ステージ製品の売上が軟調であった一方、研究・量産ステージの販売について好調に推移しました。その結果、売上高は889,127千円（前年同四半期比1.8%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は4,763,778千円（前年同四半期比8.3%増）、営業利益は880,754千円（前年同四半期比86.3%増）、経常利益は911,629千円（前年同四半期比90.2%増）、四半期純利益は628,329千円（前年同四半期比147.1%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は5,522,546千円となり、前事業年度末に比べて824,882千円減少いたしました。これは主に仕掛品が1,186,780千円及びその他流動資産が149,396千円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が727,118千円、売掛金が1,424,413千円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は7,786,333千円となり、前事業年度末に比べて182,175千円増加いたしました。これは主に設備の取得等で有形固定資産が235,188千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は13,308,879千円となり、前事業年度末に比べて642,706千円減少いたしました。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は1,450,321千円となり、前事業年度末に比べて596,489千円減少いたしました。これは主に短期借入金の返済により200,000千円、未払法人税等が132,958千円及びその他流動負債が141,202千円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は1,031,156千円となり、前事業年度末に比べて298,616千円減少いたしました。これは主に借入金の約定返済により長期借入金が329,985千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、2,481,477千円となり、前事業年度末に比べて895,105千円減少いたしました。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は10,827,401千円となり、前事業年度末に比べて252,398千円増加いたしました。これは主に自己株式の取得等に伴い純資産の控除項目である自己株式が78,200千円増加した一方で、四半期純利益計上等により利益剰余金が355,120千円増加したことによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社を取り巻く外部環境は、依然として新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響による世界経済やロシア・ウクライナ地域を取り巻く状況など、先行き不透明な状況は今後も続くと考えられ、当社も引き続き影響を受ける可能性があると考えております。ただし当期に限れば、新型コロナウイルス感染症やウクライナ地域の情勢、その他を要因とする、原材料高騰・調達難、為替変動等による業績への影響が軽微となる見通しとなりました。

販売面では、機能性材料事業部門で医薬関連材料の量産ステージ製品販売が好調に推移し、医薬事業部門では開発ステージ案件の想定を上回る受注を獲得いたしました。またバイオ事業部門では開発、研究ステージ案件の高需要を背景に堅調に推移しております。

このような状況により、当期の業績予想は2022年5月13日の「2022年3月期 決算短信」で公表した値を大きく上回る見込みとなり、通期業績予想を修正することといたしました。

[新型コロナウイルス感染症(COVID-19)およびロシア・ウクライナ情勢に関する情報について]

## ①感染拡大防止対応の状況

当社は、お客様、お取引先、従業員など関係する皆様の安全・健康を第一に考え、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大防止に向けた施策を実行しています。具体的には、テレワークによる在宅勤務を導入し、特に営業部門に関しては感染症拡大以降も継続して出社を最小限に抑制する対応を実施しています。また、事業所間移動の制限、会食の自粛要請など従業員の安全確保と感染拡大防止を最優先にした施策を適時適切に行っています。同時に、生産拠点では、感染防止策を徹底した上での生産活動の維持に努め、お客様に対する製品供給の継続などに注力しています。

## ②新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大およびロシア・ウクライナ情勢が当社業績へ及ぼす影響

当社は、顧客の研究開発や生産を支援する事業を中心に行っているため、業績はそれら顧客の開発品の開発計画や生産計画に大きく依存しております。また、当社の生産計画の遅延も業績に影響を及ぼす可能性があります。これら計画に影響を及ぼす以下の要因が想定されます。

## 1. 本感染症対策およびロシア・ウクライナ情勢の悪化に伴う世界的な経済の後退

世界・日本経済が後退し、景気が大きく低迷した場合、末端ユーザーの消費動向により、顧客の商品の生産計画に見直しが行われ、計画していた製造・販売ができなくなる可能性があります。

## 2. 感染症対策以外の医療臨床試験の遅れ

被験者の安全確保や医療現場の負担軽減を優先するため、治験の実施体制に見直しが行われ、医薬品の開発計画に変更が生じる事が考えられます。その場合、当社の製造・販売に遅延や中止などの影響が出てくる可能性があります。

## 3. 海外で生産されている電子材料等の部材や医薬原薬中間体の国内生産へのシフト

事業継続の観点から、海外で生産されている一部の電子材料等の部材や医薬原薬中間体が、日本国内で生産されるように変更される事が考えられます。その場合、当社の製造・販売量が増加し業績に影響を及ぼす可能性があります。

## 4. 原材料調達の遅延

当社の原材料は、世界各国から調達をしております。本感染症の感染拡大やロシア・ウクライナ情勢に起因する生産・物流においてその作業が滞り、原材料の調達に支障をきたす事が考えられます。その場合、製造・販売計画に遅れが発生する可能性があります。

## 5. 従業員の感染

当社の従業員が感染した場合、事業所の消毒や事業運営上必要な従業員の確保が難しくなり、休業を余儀なくされる事が考えられ、当社の製造・販売に影響が出てくる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,973,588	1,246,470
売掛金	2,518,418	1,094,004
製品	367,675	276,638
仕掛品	921,835	2,108,616
原材料及び貯蔵品	482,435	563,944
その他	83,475	232,871
流動資産合計	6,347,428	5,522,546
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,314,531	3,558,130
機械装置及び運搬具(純額)	1,405,161	1,366,743
土地	1,842,308	1,847,067
その他(純額)	346,740	371,988
有形固定資産合計	6,908,741	7,143,930
無形固定資産	45,673	56,838
投資その他の資産	649,742	585,564
固定資産合計	7,604,157	7,786,333
資産合計	13,951,586	13,308,879
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	277,704	256,822
短期借入金	200,000	-
1年内返済予定の長期借入金	439,980	439,980
未払法人税等	236,744	103,785
賞与引当金	228,348	122,984
受注損失引当金	643	4,561
その他	663,389	522,186
流動負債合計	2,046,810	1,450,321
固定負債		
長期借入金	1,036,710	706,725
退職給付引当金	278,131	310,007
その他	14,930	14,423
固定負債合計	1,329,772	1,031,156
負債合計	3,376,582	2,481,477
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,995,106	1,995,106
資本剰余金	1,895,106	1,895,106
利益剰余金	6,568,427	6,923,548
自己株式	△51	△78,252
株主資本合計	10,458,589	10,735,509
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	116,413	91,891
評価・換算差額等合計	116,413	91,891
純資産合計	10,575,003	10,827,401
負債純資産合計	13,951,586	13,308,879

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	4,399,103	4,763,778
売上原価	3,175,905	3,044,242
売上総利益	1,223,197	1,719,535
販売費及び一般管理費	750,441	838,780
営業利益	472,756	880,754
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,326	3,881
受取手数料	6,081	5,082
助成金収入	5,645	9,336
出資金運用益	-	19,059
その他	586	1,190
営業外収益合計	15,639	38,549
営業外費用		
支払利息	7,508	7,448
支払手数料	662	226
出資金運用損	369	-
その他	634	-
営業外費用合計	9,175	7,674
経常利益	479,220	911,629
特別利益		
固定資産売却益	234	-
国庫補助金	-	1,275
特別利益合計	234	1,275
特別損失		
固定資産売却損	2,523	-
固定資産除却損	4,927	416
固定資産圧縮損	-	1,275
特別功労金	100,000	-
特別損失合計	107,451	1,691
税引前四半期純利益	372,004	911,212
法人税、住民税及び事業税	184,717	255,944
法人税等調整額	△66,997	26,939
法人税等合計	117,720	282,883
四半期純利益	254,284	628,329

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年5月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式100,000株の取得を行いました。また、2022年7月15日開催の取締役会の決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式29,900株の処分を行いました。この結果、当第3四半期累計期間において自己株式が78,200千円増加し、当第3四半期会計期間末において自己株式が78,252千円となっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準の適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

これによる、四半期財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報)

当社の事業は、事業セグメントの集約基準に基づいてこれらを集約し、「有機化学品の研究・開発・生産ソリューション事業」を単一の報告セグメントとしております。そのため、セグメント情報を省略しております。